

国土交通大臣

石井 啓一 様

# 国の施策等に関する 提案・要望書

(平成29年7月)

鳥取県自治体代表者会議  
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	稲	田	寿	久
鳥	取	県	市	長	深	澤	義	彦
鳥	取	県	市	議	高	田	周	儀
鳥	取	県	町	村	森	安		保
鳥	取	県	町	村	川	上		守

# 地方航空路線の維持・拡充について

## 《提案・要望の内容》

○地方における交流人口の拡大や物流の拡充などにより地方経済を発展させるためには、ハブ空港である羽田との路線強化が必要不可欠であることから、次のとおり積極的な施策を講じること。

- ①鳥取－東京線の航空需要の安定かつ持続性のある伸展を図るため、羽田発着の政策コンテスト枠を平成30年度以降も継続して割り当てること。
- ②国際線枠の暫定活用により増便した米子－東京線は、その利用状況が好調であるにも関わらず減便となったことから、引き続き利用者の利便性向上を図るため、羽田空港の国内線発着枠の増枠等確保について早急に対応すること。
- ③東京線の航空運賃について、岡山や広島など山陽側と比べ割引率が低く、均衡ある地域間競争の確保と観光客増による地域経済発展のため、航空会社に対し航空運賃の引き下げを働きかけること。

## <参考>

### 1 鳥取砂丘コナン空港の国内線運航状況

- (1) 路線状況：ANA羽田5便/日 ※羽田発着政策コンテスト枠により、H29年度まで5便化継続
- (2) 利用状況と便数の推移

H25年度	330,016人	4便
H26年度	342,926人	5便
H27年度	368,099人	5便
H28年度	373,107人(H27年比101%)	5便
H29年度(4～6月)	149,467人(前年同月比107%)	5便

- (3) 羽田発着枠政策コンテスト（東京－鳥取線5便継続）における目標値

区分	H27年度実績	H28年度実績	29年度目標
利用者数	348,726人	353,541人	370,000人
利用率	58.6%	59.6%	62.0%

※利用者数は有償搭乗者数のみの数値

- (4) 利用者増に向けた今後の取組

○人口規模が大きい首都圏や外国人旅行者の更なる取込みを図る。

➢ANA うっとり鳥取キャンペーン「鳥取多美（たび）」、ANA 中国統括室との連携等による羽田トランジットの促進、二次交通整備、Wi-Fi環境整備、多言語対応推進等

○移住促進等の県の施策との連携や県境を越えた但馬地域からの利用を推進する。

➢移住・企業活動・介護・子どもの県外体験等の目的で利用する場合に航空運賃を半額から全額支援  
➢但馬地域の子どもが県外体験等の目的で利用する場合に一定額を助成

○空港の持続的な賑わいの創出のため、空港施設の一体化等により「空の駅」化を図る。

➢鳥取砂丘コナン空港への愛称化(27/3/1)を機に空港を一つの観光スポットとする「空の駅」化を推進

### 2 米子鬼太郎空港の国内線運航状況

- (1) 路線状況：ANA羽田6便/日 ※ただしH29.6-9月期は5便に減便
- (2) 利用状況と便数の推移（H25-H27のSKYは除く）

		4-5月	6-9月	10月	11-3月
H25年度	543,947人	5便	5便	6便	6便
H26年度	496,255人	6便	5便	6便	6便
H27年度	549,029人	6便	5便	6便	6便
H28年度	571,815人(H27年比104%)	7便	6便	7便	6便
H29年度(4～6月)	143,376人(前年同月比105%)	6便	5便	6便	—

### 3 全日空の特割・各種旅割運賃の現状

- (1) 「特割」について

区間	H29.4月期の平均価格								
	鳥取	米子	岡山	広島	岩国	山口宇部	萩・石見	JAL出雲	
普通運賃	30,800円	32,300円	33,700円	34,600円	34,600円	38,800円	36,800円	32,300円	
特割、 特便割引	金額 22,600円	金額 24,100円	金額 14,500円	金額 15,500円	金額 17,200円	金額 19,400円	金額 25,800円	金額 24,100円	
	割引率 27%	割引率 25%	割引率 57%	割引率 55%	割引率 50%	割引率 50%	割引率 31%	割引率 26%	

特に「特割」の割引率が他空港より低い。  
⇒運賃が他空港より約1万円高い

#### 「特割」、「特便割引」の利用期限

- 岡山・広島・岩国・山口宇部  
⇒搭乗前日まで
- 鳥取・米子・萩石見・出雲  
⇒搭乗3日前まで

- (2) その他「旅割」の割引率も、鳥取・米子は、岡山・広島などの山陽側より10%～15%程度低い。

# 本県の航空路線網

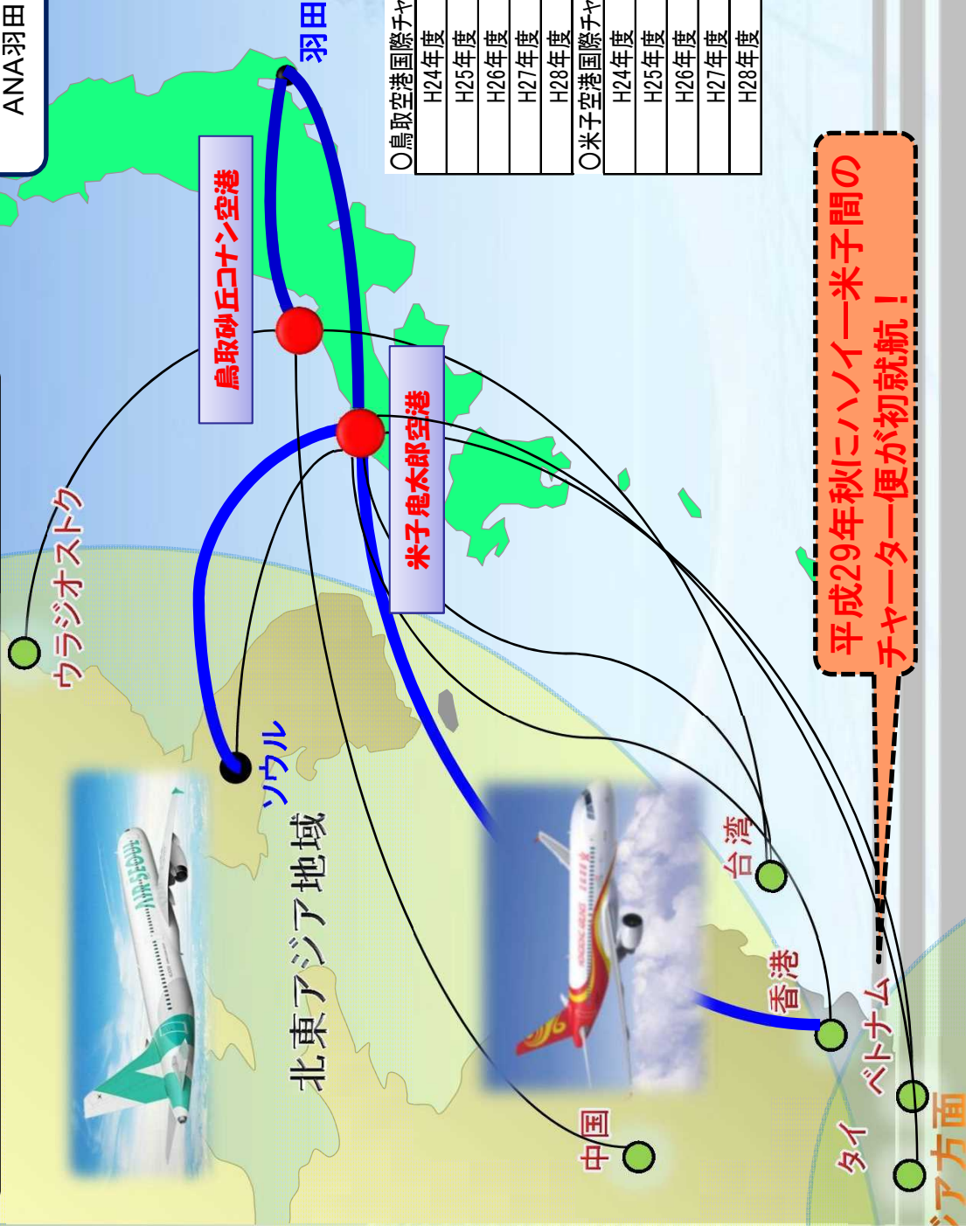
と鳥取県

## <国際線>

- ・エアソウル (週3便:日・火・金) ⇒ H28からエアソウルが就航
- ・香港航空 (週2便:水・土) ⇒ H28に新規就航
- ・チャーター便 (香港、台湾、タイ、韓国、中国、ロシア、ベトナム等)

## <国内線>

- ・米子鬼太郎空港  
ANA羽田1路線6便 (ただしH29.6～9は5便)
- ・鳥取砂丘コナン空港  
ANA羽田1路線5便 (H26.3から5便化)



### ○鳥取空港国際チャーター便就航状況

H24年度	8便 (台湾、ロシア)
H25年度	10便 (台湾、ロシア)
H26年度	10便 (台湾、ロシア、中国)
H27年度	8便 (台湾)
H28年度	8便 (台湾、ロシア)

### ○米子空港国際チャーター便就航状況

H24年度	29便 (台湾、中国)
H25年度	50便 (香港、台湾、ロシア)
H26年度	41便 (香港、台湾、バンコク、韓国)
H27年度	43便 (香港、台湾、韓国)
H28年度	16便 (中国)

平成29年秋にハノイ—米子間の  
チャーター便が初就航!

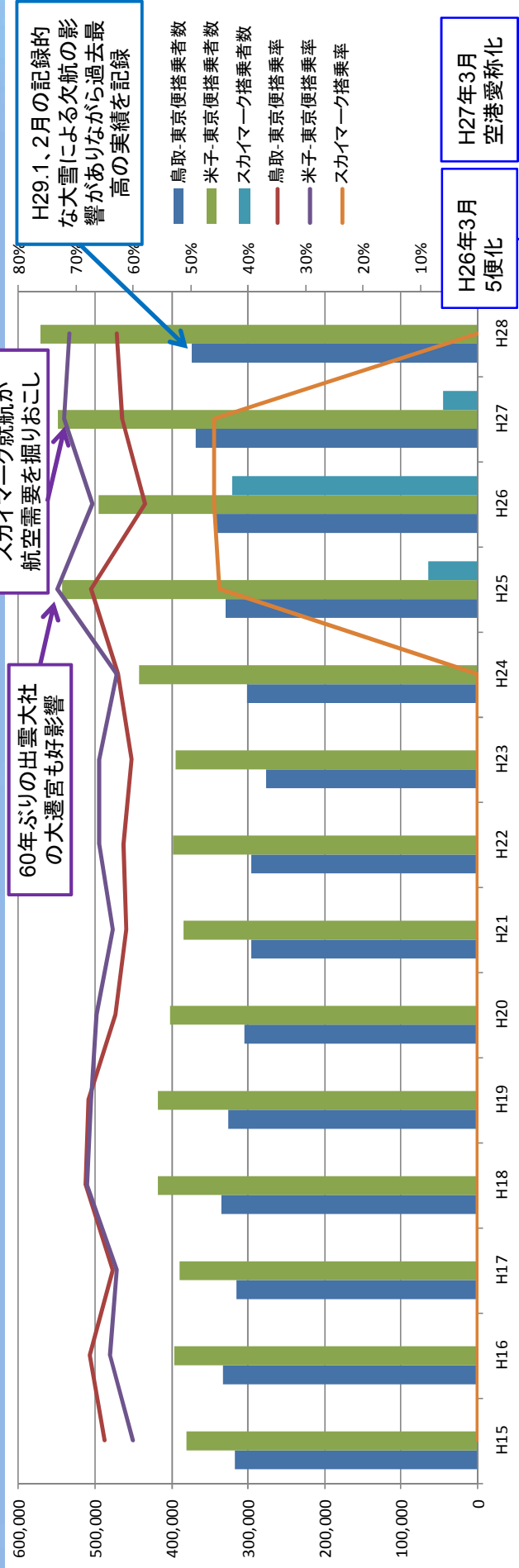
— 定期便  
— チャーター便  
(H26～)

# 本県両空港の国内線利用状況の推移と鳥取県

多様な利用促進策の実施、多路線化等により航空便利利用者が急増！

■ 鳥取：24年度30万人、25年度33万人、26年度34万人、27年度37万人、28年度37.3万人

■ 米子：24年度44万人、25年度61万人、26年度82万人、27年度60万人（SKY運休）、28年度57万人



各年度の利用状況

区分	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
鳥取-東京便搭乗者数	317,036	333,273	315,038	334,298	326,421	305,265	295,553	296,987	276,987	301,885	330,016	342,926	368,099	373,107
鳥取-東京便搭乗率	65%	68%	64%	68%	68%	63%	61%	62%	60%	63%	67%	58%	62%	63%
米子-東京便搭乗者数	379,871	396,072	389,343	418,410	418,307	402,021	384,887	398,730	394,677	441,941	543,947	496,255	549,029	571,815
米子-東京便搭乗率	60%	64%	63%	68%	67%	66%	64%	66%	66%	63%	73%	67%	72%	71%
スカイマーク搭乗者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63,780	320,081	45,313	-
スカイマーク搭乗率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45%	46%	46%	-

米子空港国内線利用者が初めて80万人達成

H25年10月～5月、H26年10月～5月、H27年10月～H29年3月：6便化 ※H28.3～期間7便化

H18年1月 ナイトステイ開始

H15年7月 4便化

H22年4月 空港愛称化

H26年3月 5便化

H27年3月 空港愛称化

スカイマーク就航が航空需要を掘りおこし

60年ぶりの出雲大社の大遷宮も好影響

H29.1、2月の記録的な大雪による欠航の影響がありながら過去最高の実績を記録

- 鳥取-東京便搭乗者数
- 米子-東京便搭乗者数
- スカイマーク搭乗者数
- 鳥取-東京便搭乗率
- 米子-東京便搭乗率
- スカイマーク搭乗率

# 国際航空路線の拡充に伴う受入環境整備について

## 《提案・要望の内容》

○米子鬼太郎空港では、近年急増している外国人旅客の更なる誘客対策を強化するため、「訪日誘客支援空港」に認定いただいたが、空港受入環境の整備や着陸料割引にあたっては空港の実情に応じた必要な支援を講じること。

①旅客の受入環境高度化のための施設整備については、ランプバス利用者以外の待合施設の拡張及び到着ロビーの拡張も補助対象とすること。

②国際線着陸料割引は、既に新規就航及び増便したものについても新規就航等から3年間は支援対象とすること。

※米子鬼太郎空港では国際線の利用者増加により手狭となった空港の施設整備を計画中。  
 (①固定橋、搭乗橋の新設、②国際線搭乗待合室の拡張、③手荷物受取所・税関検査場拡張、④国際線到着ロビーの拡張)

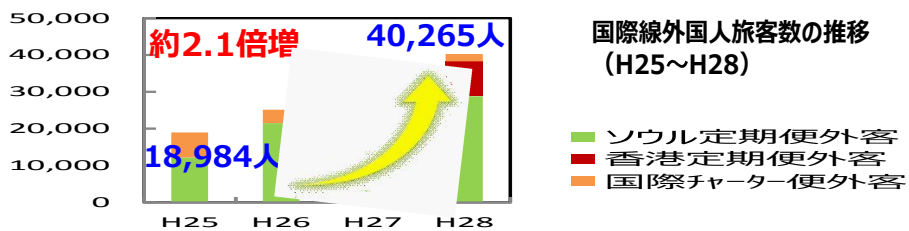
※平成29年度地方空港受入環境整備事業費補助金の応募要領によると上記②、④は対象外となっているが、国際線利用者の受入環境の高度化には不可欠。

※また、昨年新規就航した香港航空とエアソウルについては、旅客の変動も予想され、継続的な安定就航に繋げるためには、就航日から3年間は着陸料割引が必要。

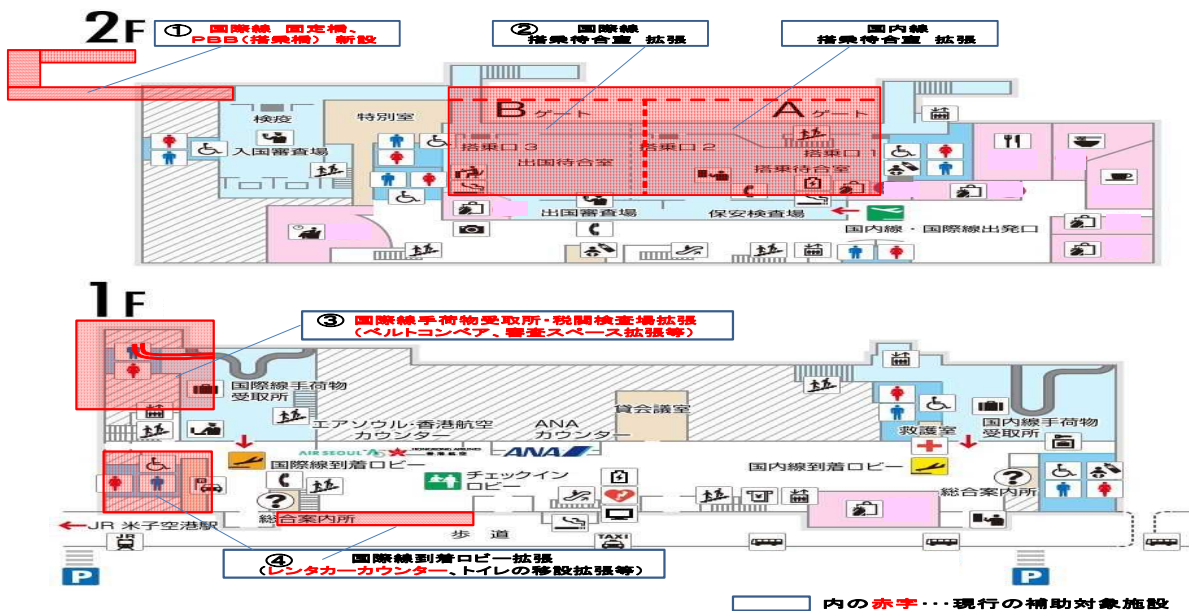
## <参考>

### 1 米子鬼太郎空港における国際線外国人旅客の急増

米子鬼太郎空港ではエアソウル（週3便 195席 28年10月就航）と香港航空（週2便 174席 28年9月就航）が定期運航中。併せて国際チャーター便も運航していることから外国人旅客が急増し、空港施設が手狭となっている。



### 2 米子鬼太郎空港の施設整備予定



### 3 補助対象外施設の混雑状況

#### 〔国際線搭乗待合施設〕

着席することができず、通路で立ったまま搭乗を待つ旅客が発生。



#### 〔国際線到着ロビー〕

到着ロビーが狭く、ツアー客が滞留し、動線も出迎え客がふさいでしまっている。



# 本県の航空路線網

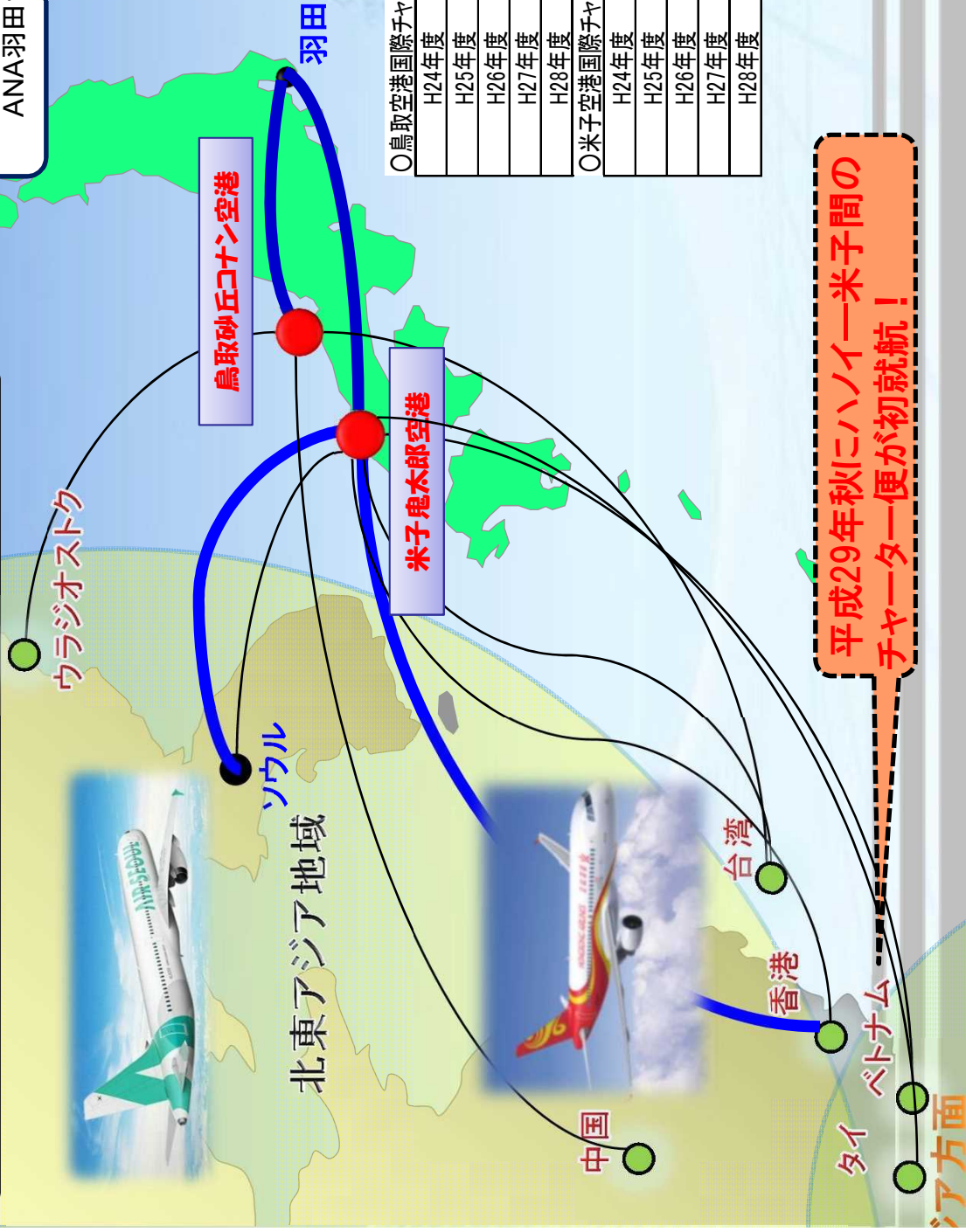
と鳥取県

## <国際線>

- ・エアソウル (週3便:日・火・金) ⇒ H28からエアソウルが就航
- ・香港航空 (週2便:水・土) ⇒ H28に新規就航
- ・チャーター便 (香港、台湾、タイ、韓国、中国、ロシア、ベトナム等)

## <国内線>

- ・米子鬼太郎空港  
ANA羽田1路線6便 (ただしH29.6～9は5便)
- ・鳥取砂丘コナン空港  
ANA羽田1路線5便 (H26.3から5便化)



### ○鳥取空港国際チャーター便就航状況

H24年度	8便 (台湾、ロシア)
H25年度	10便 (台湾、ロシア)
H26年度	10便 (台湾、ロシア、中国)
H27年度	8便 (台湾)
H28年度	8便 (台湾、ロシア)

### ○米子空港国際チャーター便就航状況

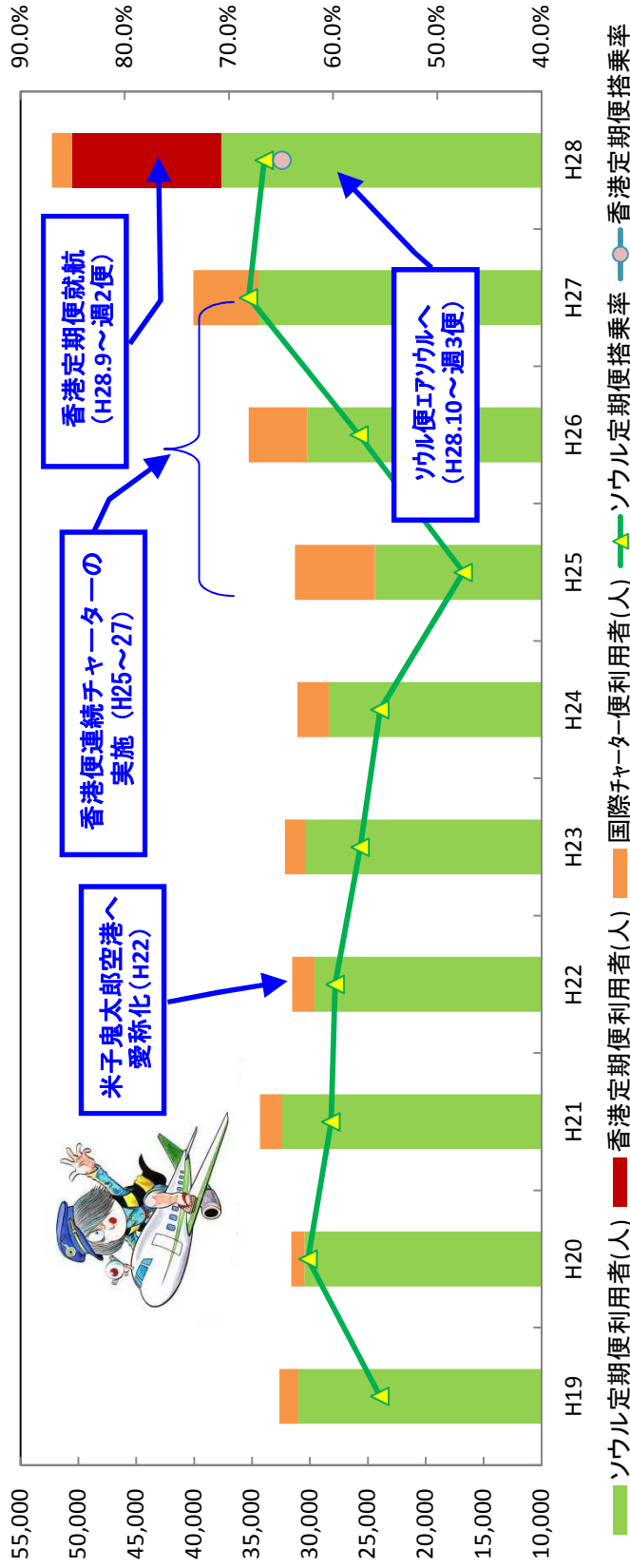
H24年度	29便 (台湾、中国)
H25年度	50便 (香港、台湾、ロシア)
H26年度	41便 (香港、台湾、バンコク、韓国)
H27年度	43便 (香港、台湾、韓国)
H28年度	16便 (中国)

平成29年秋にハノイ—米子間の  
チャーター便が初就航!

— 定期便  
— チャーター便  
(H26～)

# 米子鬼太郎空港国際航空便利用状況

- 国際定期便は、香港便の新規就航（H28年9月）、ソウル便運航会社のエアソウルへの変更（H28年10月）などにより、H28年度で**50,563人**と、H25年度比で約**207.3%**の伸び。
- 今後、利用促進の取組による定期便の増便（ソウル便：3便→5便/週、香港便：2便→3便/週）、チャーター便の誘致（H29秋：バトナムチャーター予定、H28から引き続き続き中国本土からの連続チャーター）などにより、より一層の利用客の増加が見込まれる。



年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
ソウル定期便利用者(人)	31,018	30,478	32,406	29,617	30,339	28,378	24,384	30,213	34,440	37,688
ソウル定期便搭乗率	55.5%	62.4%	60.2%	59.8%	57.4%	55.5%	47.5%	57.5%	68.1%	66.6%
香港定期便利用者(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,875
香港定期便搭乗率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64.9%
国際定期便利用者数(人)	31,018	30,478	32,406	29,617	30,339	28,378	24,384	30,213	34,440	50,563
国際チャーター利用者(人)	1,612	1,124	1,924	1,907	1,830	2,716	6,904	5,076	5,640	1,721
国際線利用者合計	32,630	31,602	34,330	31,524	32,169	31,094	31,288	35,289	40,080	52,284